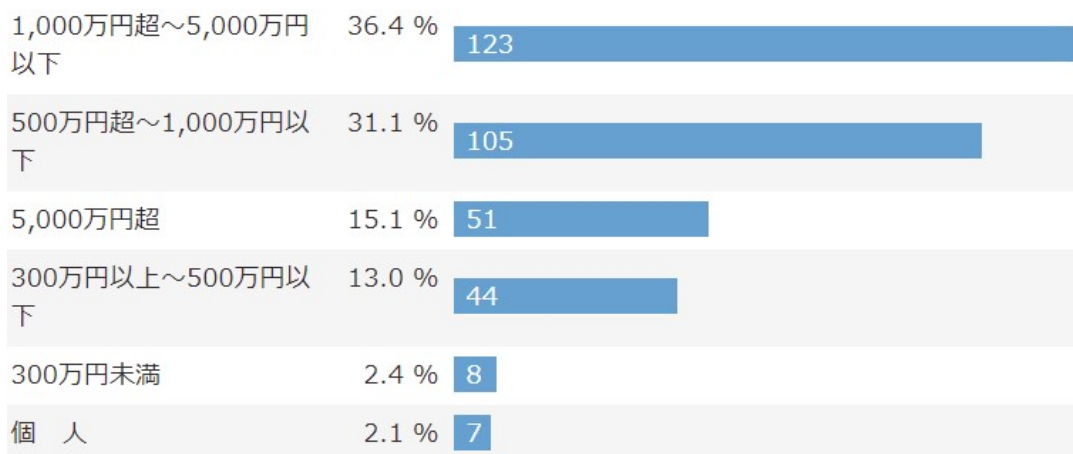


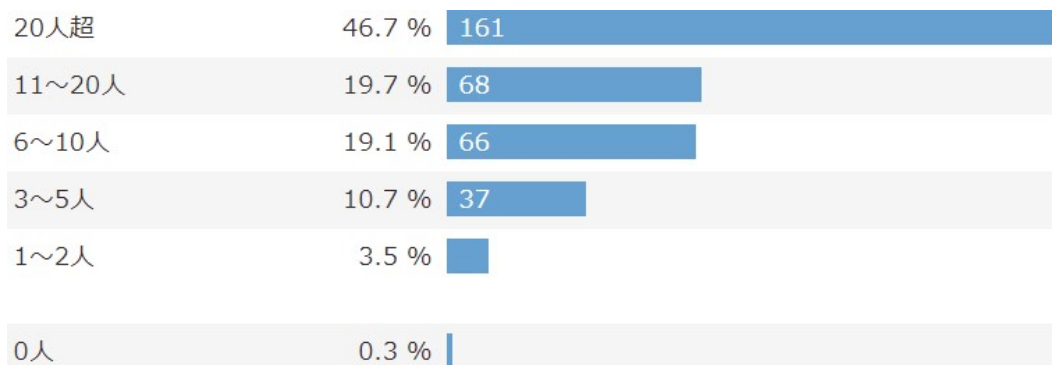
富士商工会議所 健康経営に対する意識調査票 集計結果

調査期間：平成30年12月25日～平成31年1月25日
調査対象：管内中小企業1195社 有効回答数338社

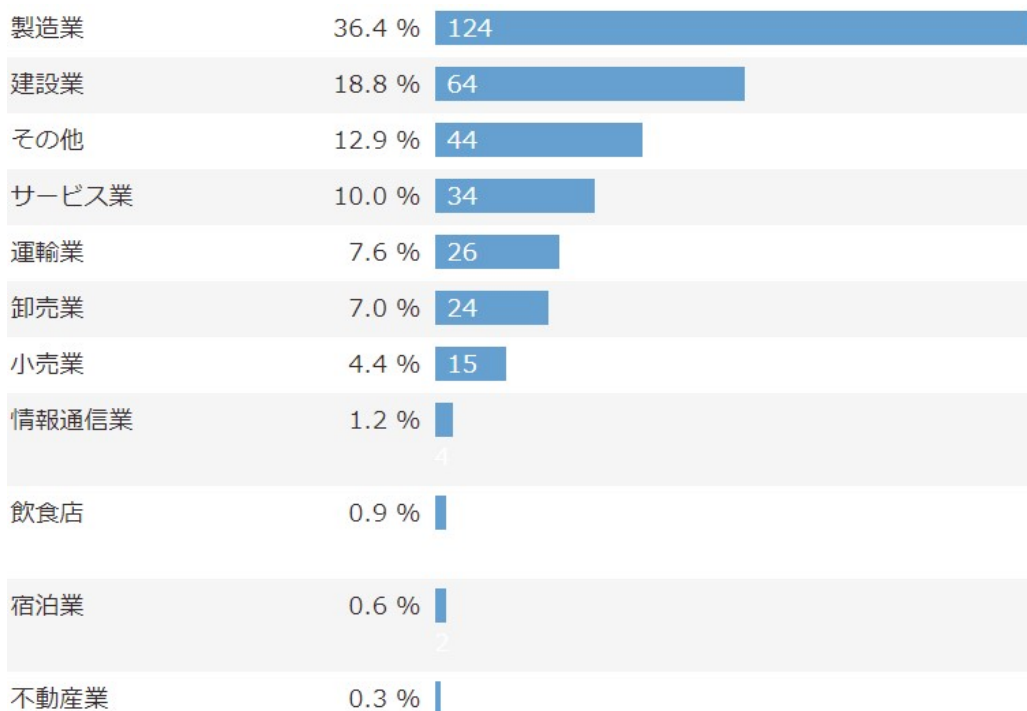
問 2 貴社の資本金は次のどれですか。



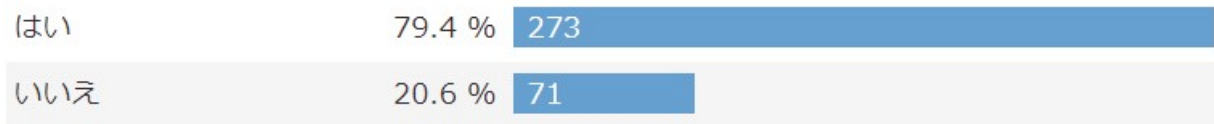
問 3 貴社の従業員数は次のどれですか。



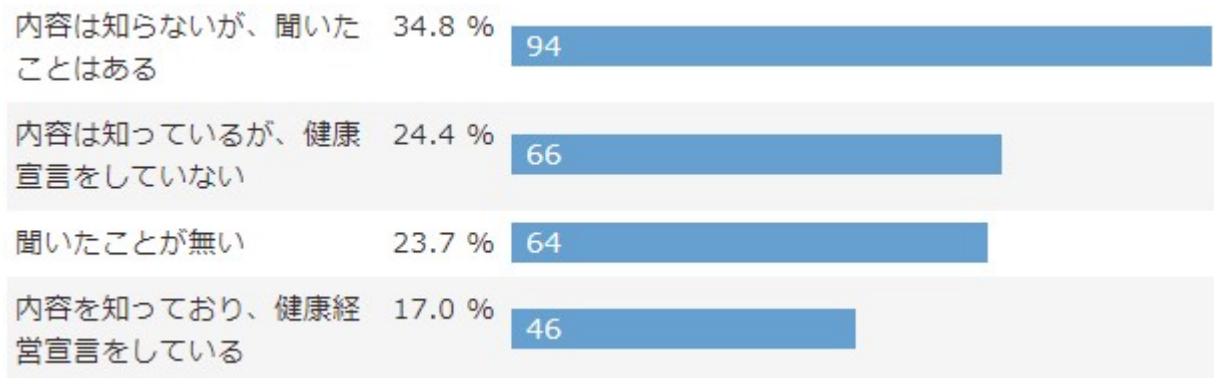
問 4 貴社の主な業種は次のどれですか。



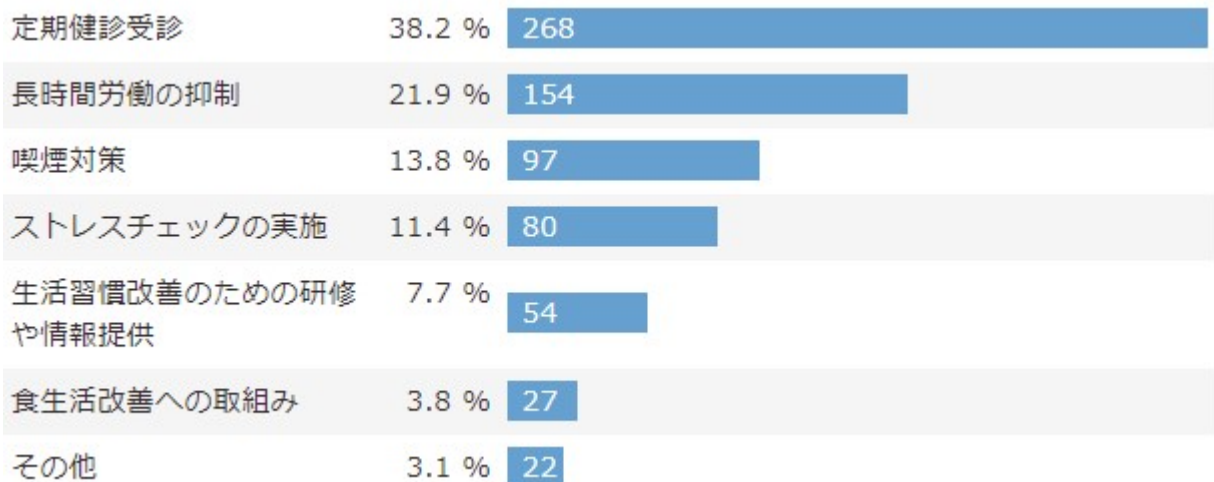
問 5 従業員の「健康増進」に向けて取り組んでいますか？



問 6 「健康経営宣言」という言葉をご存じですか？

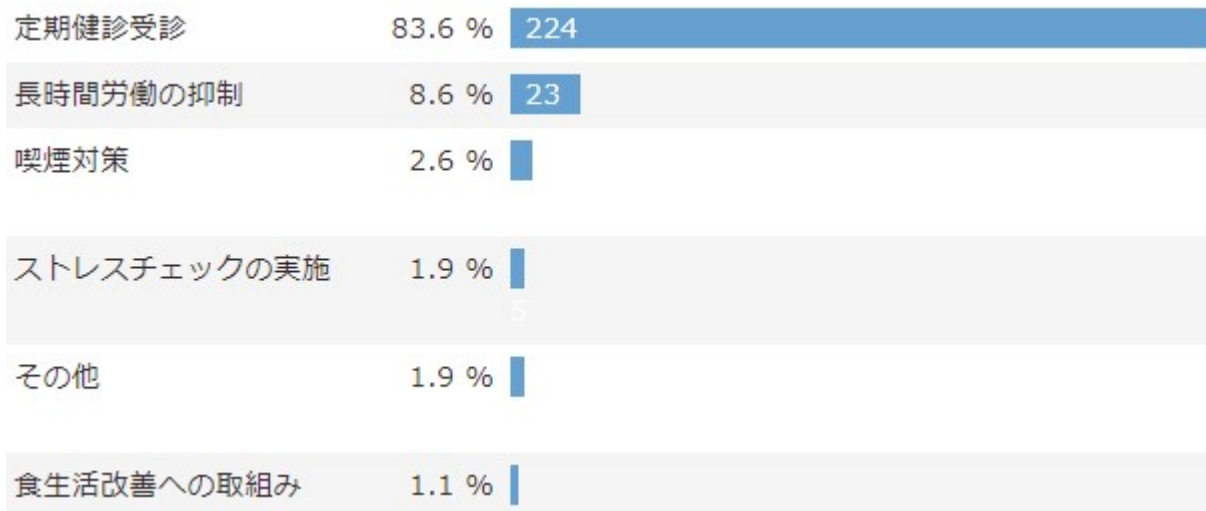


問 7 従業員の健康増進を目的に行っている取組みは何ですか。（複数回答可）

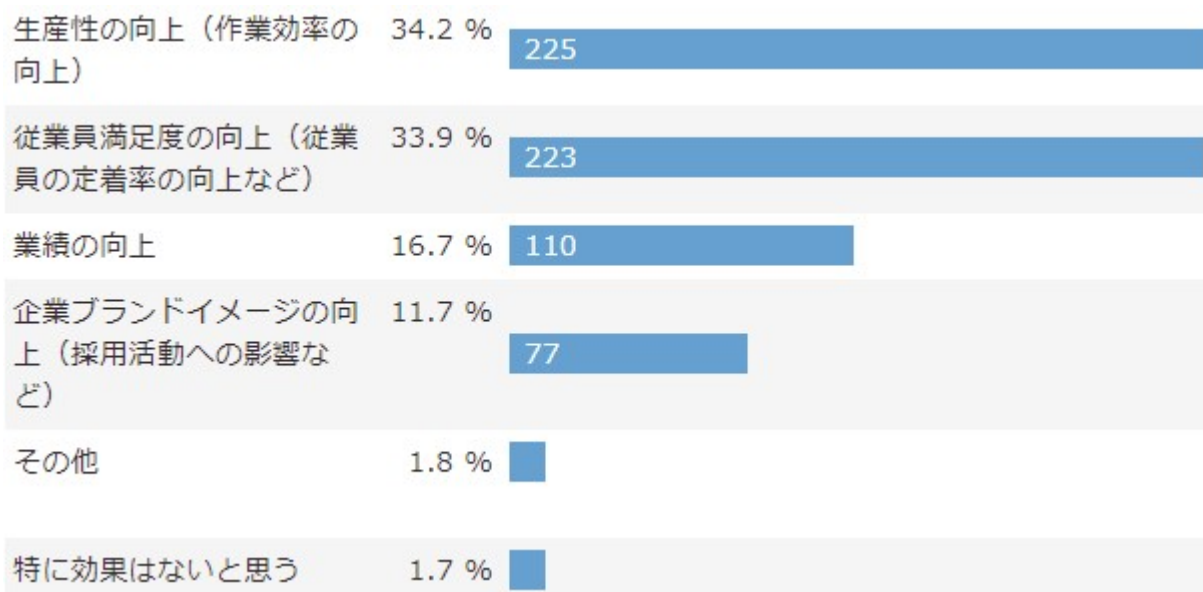


- インフルエンザ予防接種
- スポーツクラブの法人会員
- メンタルヘルス不調者を出さない環境づくり
- ラジオ体操
- 血圧計の設置、室内禁煙
- 健康組合の保健師による指導を積極的にすすめている
- 社員 1 人 1 人と常に話をして、健康チェック
- 昼休みにウォーキング、空いた時間にスクワット
- 通常の出勤日にウォーキング、ソフトバレー、バトミントン等、皆で身体を動かす取組をしている。
- 特定健康指導対象者に対する個別面談
- 熱中症対策等
- 年 6 回の健康増進プログラム「FDS ウェルネスプログラム」
- 有給をとりやすくしている

問 8 問7でお答えた中で、最も効果のあった取組はなんですか

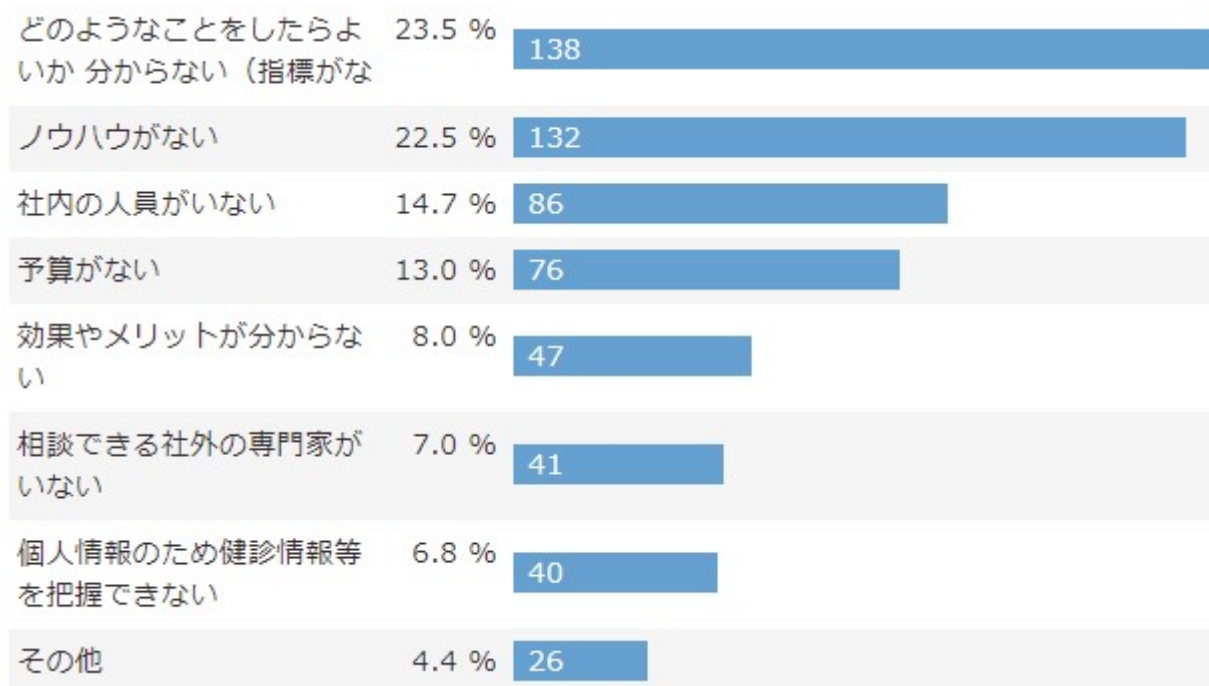


問 9 「従業員の健康増進」は、貴社にどんな効果をもたらすと思いますか？（複数回答可）



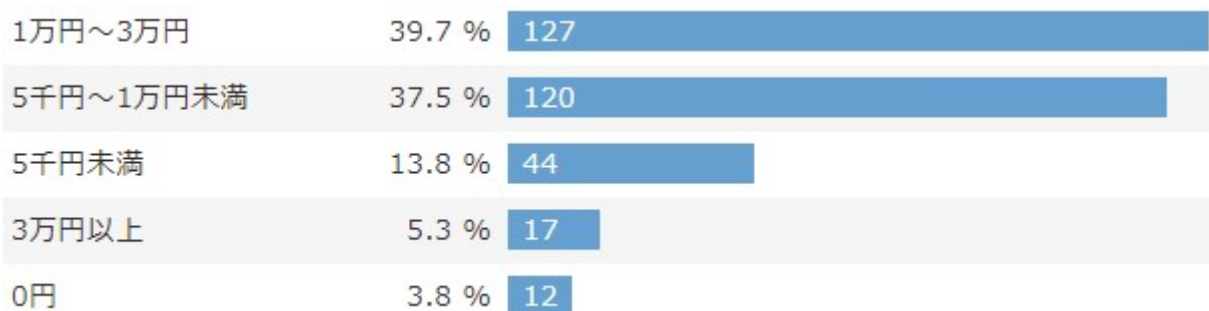
コミュニケーションアップ、スタッフ同士のつながり
 健康な体によりはじめて、安全が確保されると思います。
 健康管理に役立つ
 健康増進も仕事のうちであるという意識、認識を学生にもわかってもらう。
 現場に怪我はさせないと、欠勤及び通院等が減る
 個々の健康意識
 長期休暇の減少
 定年延長を見据えた雇用拡大

問 10 健康経営を実践するにあたり、課題になる（なりそうだ）と思うものはどれですか？（複数回答可）

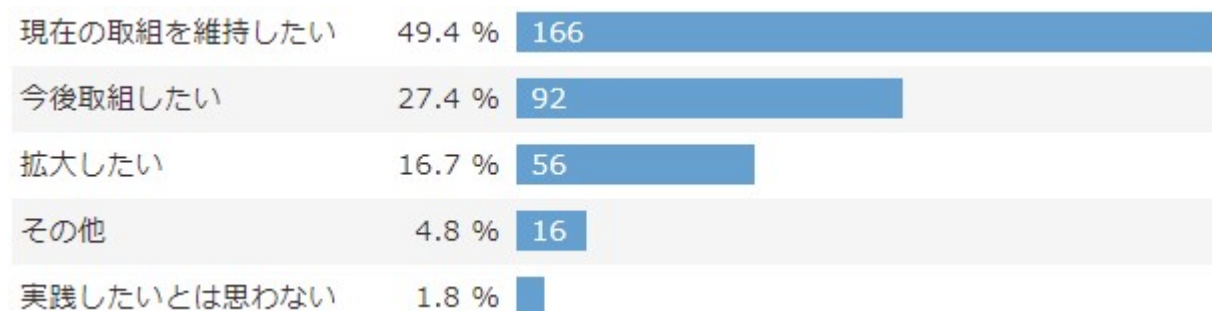


実践の効果測定指標が分かりづらい。効果が出るのに数年かかるものがある。
 各支社の全社員を公平に待遇したい。
 関係会社がおこなっている
 基本的には本人自身で管理するもの
 喫煙の害に対する危機感の不足
 経営層の一部が否定的
 健康検査器具・健康増進器具を設置したいが、余裕スペースが無い。
 検診以外の具体的な方法がわからない
 効果的な手段がわからない
 考えられることは行っているが、マンネリ
 社員の健康経営への理解力・協力
 従業員の受け入れ、面倒だと思われぬ策をかんがえること
 定期検診の結果をみて改善のための通院や努力をお願いしているが。本人に良くしようとする
 努力が感じられない。

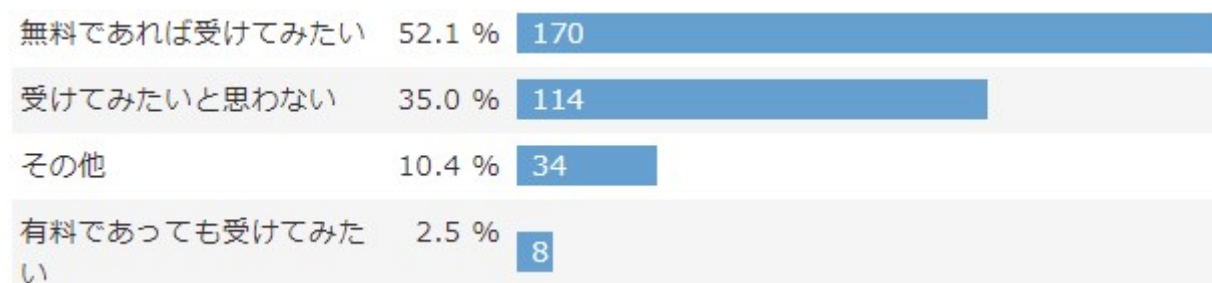
問 11 従業員の健康増進に向けた取組みに投入できる1人あたりの費用（年間）はどの程度ですか。



問 12 「健康経営」の今後の実践についてどのようにお考えですか。



問 13 健康経営の専門家による健康経営診断やコンサルティングを受けてみたいですか？



どのような健康経営診断やコンサルティングか資料を見てから考えたい

まずは、今おこなっていることをしっかり形にしたい

以前受けたことがあるが、気難しい方だったので抵抗がある。

該当者には私学共済より、1対1でアドバイザーがつきすでにコンサルティングを設けている。

興味はあるが、現在時間がとれない

近日中に健康保険組合の手配により、健康診断の結果が悪い者に対し健康相談面談を行う予定。

契約している産業医や病院がある

健康経営の前に定期健康診断結果の専門的な産業医療の健康相談や、指導が先と考えている。

現状の取組んでいる内容をまずはやっていきたいと考えています。

現状維持のため今は不要。

事例集があれば見たい

実践が決定したら検討したい

従業員が入社し、その段階になったら考えたい

情報提供をうけたい